

司 会 仲 里 清 義 (沖縄県教育庁生涯学習振興課主任社会教育主事)
浦 本 陽 子 (福岡県立社会教育総合センター社会教育主事)

1. 地域に根ざしたボランティア活動の取り組みと成果 9:00~9:25
~気づき・考え・実践する子どもの育成~

櫻 田 京 子《熊本県》牛深市立山之浦小学校教頭

本校では、「地域美化・福祉の心を根底においた活動」を通して地域に根ざしたボランティア活動をめざそうと取り組んでいる。主活動として、日曜日の道掃除、花いっぱい運動の一環としての一家一鉢運動、老人ホームへのふれあい訪問などを行っている。その結果、地域との結びつきが深まり、子どもにも成長が見えつつある。

2. ちびっ子クッキングを通じた青少年の育成 9:25~9:50

後 藤 美智江《福岡県》稲築町漆生南部婦人会会長

学校週5日制導入を踏まえ、町婦人会が取り組んでいる事業で、小学生を対象に、主として第2土曜日の午前中に実施している。単なるクッキング教室で終わるのではなく、子どもの主体性を尊重しながら家庭での実践へとつなぐ工夫や、紙芝居などのプログラム、公民館や学校と連携した広報・参加募集活動を行っている。

ティー・ブレイク 9:50~10:25

3. 5・6年生「移動教室」の試み 10:25~10:50
~青年の家の利用と学習の成果~

坂 本 幹 彦《熊本県》姫戸町立牟田小学校校長

学習生活の場を学校から青年の家に移し、5日間親元を離れて自分たちで生活する中で、自主性や協調性を育てるきっかけをつくらうとする試みである。お菓子、テレビ、マンガ、ゲーム等と離れ、午前中は時間割通りの学習、午後は青年の家の施設をフルに活用した活動を行なう。5日間で子どもは協力することを学んでいく。

4. 「障害」児と「健常」者が地域の中で共に生きるための 10:50~11:15
支援活動拠点「たんぼぼの家」の建設

船 津 静 哉《佐賀県》多久市立多久東部小学校教諭

「障害」者と「健常」者が地域の中でともに生きるための支援活動拠点である「たんぼぼの家」は、建設費・資金をはじめとして数多くのボランティアに支えられ建設された。地域での「共生」をテーマとした活動に理解が得られた結果、施設は充実してきたと思われる。さらなる理解のための活動と支援活動を続けたい。

5. 総 括 討 論 11:15~11:40

* 閉会式—総会(4階大研修室) 11:50~12:20